

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉井 章

幹 事 渡邊 和裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2945号 2022年3月22日(雪) 第33回例会 会員数116名

ハイブリッド例会



点 鐘 倉井 章会長



司 会 副SAA 飯村会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱



会長挨拶

倉井 章会長

会員の皆様、こんにちは。雪の降るお寒い中、例会にご参加頂きまして有難うございます。先ずは、先日16日に福島県沖を震源とする地震により、お亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方に対ししてお見舞いを申し上げたいと思います。マグネチュード7.3、最大震度6強という地震で、11年前の東日本大震災を思い出すような強い揺れでした。被害の方は大丈夫だったでしょうか。

改めて皆様、お久しぶりです。昨日やっと「まん延防止等重点措置」が再延長の末、解除となりました。皆様とお会いできるのは、1月25日の1月第三例会以来、約2カ月ぶりとなります。久々のハイブリット例会です。本日は、お持ち帰り弁当と致しますが、状況を見ながら会食に変更したいと思います。

オミクロン変異ウイルスの感染者もだいぶ減っているものの、昨日、全国39,659人、東京3,855人、栃木においても248人で、いまだ収束しそうな状況ではありません。また、オミクロン変異ウイルスBA.1の他、デンマークで爆発的に感染拡大がみられます、オミクロン亜系統BA.2(ステルスオミクロン)の感染報告も国内で出ているようです。これからは後から後から変異株が出てくることを考えますと、経口薬の開発が待たれるところです。現在、塩野義製薬が開発中の飲み薬は軽症者向けの治療薬で、ウイルスの増殖を抑制することで重症化を

防ぐとされており、国内では治験を経て安全性や有効性が確認されたとして、2月下旬に厚生労働省に承認申請をしております。承認が得られれば国内企業で初の飲み薬となります。ゼロコロナを期待するのは無理な様ですので、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられる状況になることを期待したいと思います。

前回もお話をしましたが、ロシアによるウクライナ侵攻が開始されてから、まもなく1か月が経過しようとしています。ロシア軍による攻撃は激しさを増し、無差別攻撃により民間での犠牲が増え続けています。首都キエフでは、新たにショッピングセンターが爆撃され、少なくとも8名の死者が出ています。ゼレンスキー大統領は、自身のSNSで「マリウポリの美術学校に爆弾を落とした。そこには約400人の民間人がいました。主に女性や子ども、高齢者です」と非難しています。あつてはならない悲惨な状況が続いております。

ウクライナ情勢に関する国際ロータリーからの声明が出ています。

『ウクライナと世界の人びとにとって、痛ましく悲惨な状況となっています。ロータリーは、ウクライナにおける状況悪化と、人命の喪失および人道的苦難が深刻化していることを深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲惨な結果が広がる恐れがあります。』

世界最大の人道支援団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的使命の礎としてきました。私たちは、国際社会とともに、即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。

過去10年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への

支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちは今、この悲劇的な出来事に直面しているウクライナのロータリー会員や人びとのために祈ります。国際ロータリーは、救援物資や支援を提供し、ウクライナ地域に平和をもたらすために全力を尽くします。』との内容です。

ロータリー財団は現在、深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を、世界中のロータリー会員が寄付することのできる正式な窓口として、災害救援基金を指定しております。「ロータリー災害救援基金」として、銀行振込、若しくは、オンライン寄付（クレジットカード決済）での寄付を募っております。4月30日が期日となっており、個人的に寄付をなさる方は、My Rotaryでのオンライン寄付、又は日本事務局への振込となります。クラブとしての取り扱いは今検討中でございます。

本日は、第6回クラブアッセンブリーとなります。3月13日に行われましたPETSの報告を加藤会長エレクトよりして頂きます。

本日も最後まで宜しくお願い致します。



幹事報告

渡邊和裕幹事

- ◇4月5日（火）18:30～ ホテルニューイタヤにて新旧委員長引継ぎ会議開催。
- ◇なりすましメールが増えています。宇都宮東RC事務局からのものであっても、「怪しい」メールや添付ファイルは開かないよう、ご注意ください。
- ◇ウクライナへの支援金、寄付について。個人で寄付したい方に、クラブでお預かりして送金できるような対応も考えております。また後日、ご連絡いたします。



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会 SAA代読 富貴塚真人会員

3月21日、大人の休日ゴルフにおいて同伴メンバーとハンディに恵まれて優勝できました。ありがとうございました。

倉井章会長

2ヶ月ぶりの例会で大変嬉しく思います。後3ヶ月よろしくお祈りします。

渡邊和裕幹事

本日、2ヶ月ぶりのハイブリッド例会、雪の中、ご出席ありがとうございました。このままコロナが落ち着くことを祈ります。

「3分間スピーチ」

岡田孝司会員



私は2016年に相馬克美会員に誘われて入会いたしました。感謝しております。

私は、とちぎYMCAというボランティアの団体に40年位いて、ボランティア活動をしています。ウクライナの場合、すぐに何かしなければということで、先週の土曜日に二荒山の前に皆で立ちまして11時から3時まで募金を致しました。昔からすると人通りが減っていて、宇都宮のおおもとは二荒山だということに寂しい状態でした。それでも11万円の寄付が集まり、ベラルーシやポーランドのYMCAに送りました。実は、今日はその二荒山のことを話そうと思いました。二荒山は宇都宮氏がそこに住む前から下野国一宮がありました。もともとは藤原宗円という方がやってきて、三代目で宇都宮氏を名のります。ところで、二荒山の前に上野さんと新上野がありました。皆さん覚えているでしょうか。旧上野と新上野は地下で繋がっていました。地下街があって、たいやき屋さんなどが入っていたと思います。今はどうなっているのでしょうか…。3分経ちましたので今日はここまでです。ありがとうございました。

※次回3分間スピーチは五味潤秀幸会員

クラブ協議会（第6回）



「会長エレクト研修セミナー（PETS）の報告」

会長エレクト 加藤勝朗会員

先々週の日曜日、3月13日にPETSが開催され参加してきました。実に3年ぶりの対面での開催でした。

- パワーポイントにて説明 -

PETSは会長エレクト研修セミナーの略称で、次期会長が受ける義務のある研修です。PETSの目的は会長心得を学ぶことにあります。入会2・3年目の会長エレクトには大変有意義な研修です。参加者の中には複数回会長に就く方もいらっしゃる、研修は不要と思われるかもしれませんが、毎年新たに受ける理由があります。なぜなら会長

は国際ロータリー(R I)と地区と所属クラブとの間を取り持つ役割があるからです。毎年変わるR I会長と地区ガバナーの方針を各クラブに伝える必要があるからです。

最初に皆さんにお伝えしなければならないR I会長方針ですが、これについては『ロータリーの友』3月号のR I会長エレクトインタビューに発表されています。R I会長のテーマは、“IMAGINE ROTARY”「イマジンロータリー」です。「これを読んでください。これで私の報告を終えます。」で済ませるわけにはいかないでしょうから、私の受けた印象を2つ述べさせていただきます。

最初に驚いたことは、次年度は翻訳なしのままのカタカナ表記だったことです。歴代R I会長の掲げるテーマは常に日本語に翻訳されて発表されていました。英語のテーマと日本語に訳されたテーマとの違いに違和感を持ったことが多々ありました。次年度はストレートに心に響き、世界のロータリーファミリーの一員である実感を持てます。

歴代R I会長はオリジナリティあるテーマを掲げることが多かったような気がします。IMAGINEの意味は想像するという動詞で、1単語だけでは想像しなさい、という命令形です。しかしながらIMAGINEと聞いてオノ・ヨーコとジョン・レノンを思い浮かべるのは私だけではないでしょう。R I次期会長は1月22日のガバナーエレクト研修の講演会で「イマジン」の歌詞の中で唯一繰り返し使われているフレーズ“You may say I’ m a dreamer But I’ m not the only one”「君は僕を夢想家だということかもしれない でも僕は一人ではないさ」に言及したそうです。同じ講演会の冒頭、アフガニスタンでのロータリーマジックの体験を語り、「ロータリーの力を発揮する唯一の限界は想像力の欠如だ」と述べたそうです。古典的名曲のタイトルをテーマにするジェニファー・ジョーンズ次期R I会長に、女性初のR I会長ということに関係なく、今までにない期待が持てます。

次に次期地区方針を報告ですが、その前に佐貫直通次期ガバナーの紹介をいたします。佐貫ガバナーエレクトには個人的に印象に残った出来事があります。それは私が『ロータリーの友』地区代表委員だった時、2018年4月号のメイクアップのすすめという企画に投稿していただいたことです。所属する陽東クラブ会員の意識向上のために東京クラブへ全会員でメイクアップに出かけるという記事でした。ロータリアンの

権利を行使する活動に感心しました。この活動は今でも毎年やっているそうです。また今回のP E T Sで初めて知ったのですが、東日本大震災でP E S Tや地区協議会が延期縮小した大変な時期の比企ガバナー年度の月信を担当したそうです。

それでは地区のテーマと方針のご報告をいたします。「ロータリーを理解し想像し多くを達成しよう」というテーマを掲げました。まさにR Iテーマである「イマジンロータリー」を実行するテーマです。地区テーマを実現するために、三つの地区方針を発表されました。

1. ロータリーの活動を知る

- ・ R I会長方針『IMAGINE ROTARY』を理解する
- ・ ロータリーの歴史や自分たちのクラブの歴史を知る
- ・ ロータリーがどのような活動を展開しているかを調べる

2. ロータリーの歩み(活動)に参加する

- ・ ロータリー活動で出来るところから参加する
- ・ 友情あるロータリアンになる
- ・ I T化、デジタル化に取り組む

3. ロータリーで「汗を流し」皆で社会を支えあう

- ・ 自分のできる活動、奉仕に参加する
- ・ 自分でなければ出来ない活動、行動を見つけて参加する

これらの方針のもと、9つの地区目標を掲げました。詳細は7月のガバナー月信に載ると思います。読んで頂ければわかって頂けるでしょう。

P E T S報告の最後に、気がついたこと、嬉しかったことをお話いたします。気がついたことは、「ロータリー財団からウクライナの人道支援の寄付についての報告があり、地区としての対応を検討中です。」という話がありました。地区やクラブで何かするというよりも、「今」私ができること、自分自身できることはないか、と考えました。一、名も無いロータリアンの行動の積み重ねが、ロータリーの活動を支えるのではないかと思いました。

※最初の一步を踏み出して、ウクライナ国旗を模したブリキ缶(募金箱)を作って、例会場入り口に置いた、とのことでした。

研修を受けて一番に嬉しかったことは、地区の委員会委員長に当クラブから渡邊会員(次期社会奉仕委員長)・田原会員(次期公共イメージ委員長)・松山会員(次期ローターアクト委員長)の3名が選出され、会長エレクトの指導にあたったことでした。ありがとうございました。